

調布市下水道浸水被害軽減総合計画【概要版】

(令和元年東日本台風の再度災害の防止に関する計画)

1. 計画の目的

本計画は、これまでの間実施してきた短期的な対策を踏まえ、再度災害防止の観点から、令和元年東日本台風と同規模の外力（降雨・外水位）に対して、両雨水幹線（調布幹線、根川雨水幹線）流域の浸水被害軽減を図ることを目的とする。

2. 対策地区の概要

2.1. 調布幹線流域（調布排水樋管の流域）

調布幹線流域は、調布市の南部及び隣接する府中市の南東部に位置し、両市にまたがる面積約 593ha の範囲となっている。

2.2. 羽毛下・根川雨水幹線流域（六郷排水樋管の流域）

羽毛下・根川雨水幹線は調布市の南東部と隣接する狛江市の西部に位置し、両市にまたがる面積約 260ha の範囲となっている。



図 2-2-1 調布幹線流域図



図 2-2-2 羽毛下・根川雨水幹線流域図

3. 対策

3.1. 対策目標

再度災害防止の観点から、台風第19号と同規模の出水に対して浸水を解消するものとする。

3.2. ハード対策

3.2.1. 調布幹線流域

(1) 対策施設

被災時に、調布幹線の水位上昇に伴い、調布幹線に流入する水路への逆流が生じ上流域の低地区にて浸水が発生した。このため、対策施設として調布幹線に流入する水路へ逆流防止ゲートの設置を令和3年6月に実施。



図 3-2-1 逆流防止ゲート設置状況及び設置後

3.2.2. 羽毛下・根川雨水幹線流域（狛江市と共通）

(1) 対策施設

対策施設の主なものとして以下の施設を設置する。（参考資料 p. 28～31 参照）

- ・ ①根川雨水幹線定置式ポンプ施設：排水量 180 m³/分（多摩川への強制排水）
- ・ ②根川雨水幹線ポンプゲート施設：排水量 150 m³/分×2 台（＝300 m³/分）
- ・ ③根川第 2 雨水幹線・根川雨水幹線連絡管：管の大きさ縦 0.5 m×横 1.6 m，延長 10 m
（ポンプ排水の補助施設）
- ・ ④根川第 1 雨水幹線逆流防止ゲート：大きさ縦 3.4m×横 3.4m（雨水幹線への逆流防止）
（令和 4 年 1 0 月設置工事完了）※逆流防止ゲートは令和 4 年 8 月に設置
- ・ 六郷排水樋管（補強）：樋管の大きさ口縦 2.9 m×横 4.8 m，延長 41 m
- ・ その他運転制御に必要な機器類

対策施設の配置位置は、図 3-2-2 を前提に検討することとする。

(2) 解析結果

対策施設であるポンプゲートと定置式ポンプを設置した場合は、浸水が発生していない。

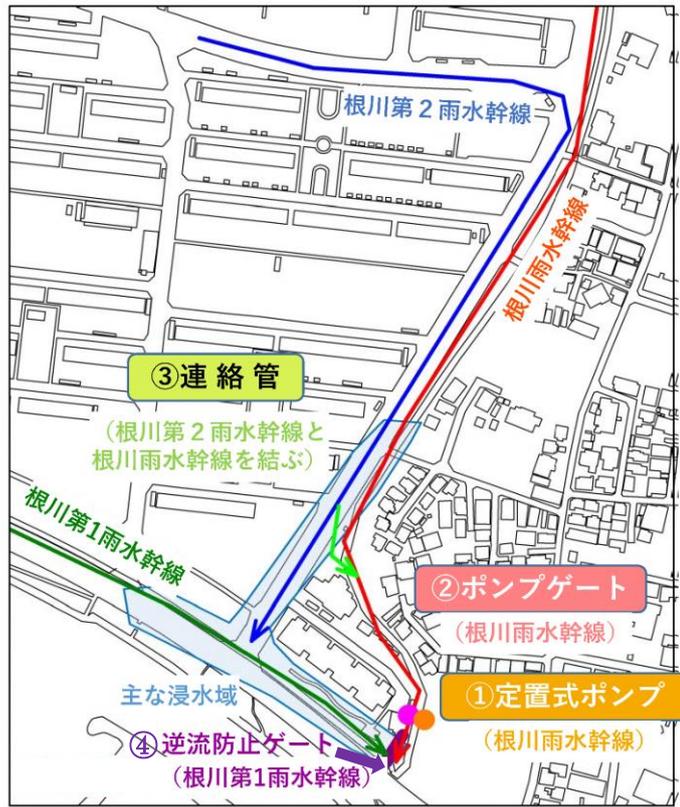


図 3-2-2 対策施設配置図

(3) 対策スケジュール

根川雨水幹線流域の中長期浸水対策スケジュールの計画を下表に示す。なお、このスケジュールは、標準的な期間を見込んで作成しており、詳細な工事手順や工程は基本設計で検討を行う。

現スケジュールでは、令和6年まで設計を行い、令和7年から工事に着手する。水路工事に関わる工事は、出水期（6月～10月）を避け、渇水期（11月～5月）に実施する。この対策事業に掛かる想定の新設費は約20億円と試算している。

表 3-2-1 羽毛下・根川雨水幹線流域中長期浸水対策スケジュール表

		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
逆流防止ゲート施工	根川第1雨水幹線への逆流防止ゲート設置工事 (令和4年10月完了)	施工						
浸水被害軽減総合計画策定	浸水被害があった地域を対象に、公助・自助・共助によるハード対策・ソフト対策を総合的に行うための計画を策定。国へ補助金の交付を要望する基礎資料としても活用	計画策定						
設計・工事	定置式ポンプ・ポンプゲート・連絡管の設計・工事		測量・調査 基本設計	詳細設計	工事 出水期 渇水期 出水期 渇水期 出水期 渇水期 出水期 渇水期			
多摩川緊急治水対策プロジェクト	国(国土交通省京浜河川事務所)が主体となり多摩川緊急治水対策プロジェクトを実施	多摩川河道掘削・樹木伐採						

3.3. 公助・自助・共助対策

中長期対策案以外の公助・自助・共助対策一覧を以下に示す。

表 3-3-1 公助による対策

区分	実施者	内容・施策等	参考資料 参照 ページ
公助	市（下水道管理者）	<ul style="list-style-type: none"> ・調布市内水ハザードマップの作成及び公表 ・樋管の水位情報、カメラ映像等の公開 ・既存住宅への雨水浸透施設の無料設置 ・可搬式排水ポンプ施設等の操作訓練 ・排水樋管等の遠隔操作化 ・可搬式排水ポンプの配備 ・排水樋管の操作規則の策定 	<p>p. 55</p> <p>p. 40, 53</p> <p>p. 76</p> <p>p. 75</p> <p>p. 42</p> <p>p. 47</p> <p>p. 73</p>
	市 （下水道管理者以外）	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する出前講座の開催（調布市総合防災安全課） ・水防訓練の実施（調布市総合防災安全課） ・土のうの配布、土のうステーションの設置（調布市総合防災安全課） ・降雨量及び河川水位の情報収集（調布市総合防災安全課） ・市内気象情報及び防災情報の配信（調布市防災・安全情報メール・調布市公式 LINE 等）（調布市総合防災安全課） （調布市広報課） ・広報誌による情報発信（調布市総合防災安全課） ・洪水ハザードマップの作成及び公表（調布市総合防災安全課） ・まちづくり対策として都市計画マスタープラン策定（立地適正化計画を含む）の取組において、防災まちづくりの取組み方針（防災方針）について検討（調布市都市計画課） ・止水板の設置助成（調布市総合防災安全課） ・電柱等への想定浸水深表示（調布市総合防災安全課） ・自動車での避難場所の拡充及び要配慮者専用駐車場の拡充（調布市総合防災安全課） ・避難場所の開設・混雑情報の発信（調布市総合防災安全課） ・避難所の開設訓練（調布市総合防災安全課） ・マイ・タイムライン作成支援（調布市総合防災安全課） 	<p>p. 82</p> <p>p. 75</p> <p>p. 48</p> <p>p. 57</p> <p>p. 60</p> <p>p. 84</p> <p>p. 77</p> <p>p. 56</p> <p>p. 69, 70</p> <p>p. 66</p> <p>p. 65</p> <p>p. 63</p>

表 3-2-3 自助・共助による対策

種別	実施者	実施項目	
自助・共助	市・市民等	・土のう、止水板等の設置	p. 48, 77
		<ul style="list-style-type: none"> ・雨水ます、側溝等の清掃 ・水防訓練、土のう積み体験訓練 ・避難所、避難経路等の確認、マイ・タイムラインの作成及び自主避難訓練 ・高齢者等災害時要援護者の支援 ・非常持ち出し品の確保 ・一時的な退避場所の提供に関する取り決め ・住民、事業者からの情報収集及び協働した水防活動 	<p>p. 75</p> <p>p. 63, 64</p> <p>p. 64</p>